

科目名	家庭支援論					開講 キャンパス	神 園
担当者	田 中 麻 里						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	家庭の歴史と現代の子育て家庭を取り巻く社会的状況や家族事情を概説し、子どもの心身の発達と家庭の関係について紹介する。さらに、保育所などの福祉施設や幼稚園などの教育機関は、子育て家庭を支援する重要な役割を担っていることを説明する。子育て家庭への支援施策及び体制の変遷や関係機関との連携について詳説し、保育士や幼稚園教諭などの役割を十分に理解できるようにしたうえで具体的支援策の習得をめざす。						
授 業 の 到達目標	1) 家庭の定義、役割と意義について述べるができる。 2) 現代の家族における、夫婦（親同士）、親子、きょうだいの関係について説明できる。 3) 現代の家族における、祖父母や親戚、近隣との関係について説明できる。 4) 社会が行う子育て支援の意義について述べるができる。 5) 子育て家庭への支援施策及び体制について述べるができる。 6) 子育て支援施策が保育、教育現場でいかに活用されているか関心を持つ。 7) 家庭支援に関する保育者の役割と支援策について、自分の意見を述べるができる。 8) 事例を通して、子育て家庭支援者である保育者の職務の重要性を認識する。 9) 事例内容を把握し、保育者としての意見をふまえた家庭支援に関するレポート作成ができる。						
学習方法	講義、ディスカッション、VTR 視聴、小テスト、レポート作成						
テキスト及び参考書等	随時プリントを配布する。 参考書：家庭支援論 松井和子他 編著 建帛社 / 家庭支援論 土谷みち子著 青鞥社						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				50	
小テスト等	◎					30	
宿題・授業外レポート							
授業態度			○			5	
受講者の発表		○	◎	○		10	
授業への参加度		○	○			5	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション（講義の内容と計画、自分にとって家族を考える）＊レポート作成						
第 2 週	家庭・家族の定義、役割と意義（血縁的集団、家族の存在、相互の役割、心身の支え）						
第 3 週	家庭・家族のうつりかわり①（理想の家庭・家族像、高齢化、少子化、ライフスタイルの変化）＊レポート作成						
第 4 週	家庭・家族のうつりかわり②（家族周期、婚前期、新婚期、養育期、教育期、排他期、老人期、孤老期）＊グループディスカッション→発表						
第 5 週	現代の家族関係①夫婦（親同士）関係（夫婦単位制、多様化、男女平等意識、子育て役割、離婚の増加、ステップファミリー）						
第 6 週	現代の家族関係②親子関係（父親、母子密着、恒常性維持）						
第 7 週	現代の家族関係③きょうだい関係（第三者の介入、自己欲求の抑制、ひきこもり、不登校、一人っ子）						
第 8 週	現代の家族関係④祖父母と親・孫の関係、親戚近隣との関係（子離れ・親離れ、家族システムの病理、ソーシャルサポートネットワーク）						
第 9 週	現代の家族関係のまとめ ＊小テスト実施						
第 10 週	子育て家庭支援の意義（個別支援と保育、関係機関との連携、障害児、虐待、ネグレクト、一時保育、世代間交流）						
第 11 週	子育て家庭への支援施策と体制（エンゼルプラン、緊急保育対策等 5ヶ年事業、次世代育成支援対策推進法、子ども・子育てビジョンなど）						
第 12 週	子育て支援体制の課題（ひとり親家庭、保健サービス、障害児、非行問題）「子育て家庭支援」事例検討①（保育所、幼稚園、関係機関との連携）						
第 13 週	「子育て家庭支援」事例検討②（児童養護施設、虐待、自立支援、関係機関との連携）						
第 14 週	「子育て家庭支援」事例検討③（障害理解、発達障害、ファミリーソーシャルワーク）						
第 15 週	まとめ（今後、保育者が担う家庭支援のあり方を考える）＊レポート作成						
第 16 週							
備 考	※本科目は、保育士資格取得のための必修科目である。						